

# 多様化する ひきこもり

## 高齢化・ 女子会・ 声をあげる 当事者

講師

林恭子さん

(一般社団法人ひきこもりUX会議 代表理事)

池上正樹さん

(ジャーナリスト)

林恭子さん  
(一般社団法人ひきこもりUX会議  
代表理事)

高校2年で不登校、20代半ばでひきこもりを経験。信頼できる精神科医や「ひきこもりについて考える会」での多様な人々との出会いを経て回復。仕事や結婚を経験し、現在は同じくひきこもり経験者である夫と古書店を経営しながら、横浜・神奈川で仲間と不登校・ひきこもりの支援活動をしている。



©平岩享

池上正樹さん (ジャーナリスト)

通信社などの勤務を経て、フリーのジャーナリストに。1997年から日本の「ひきこもり」界隈を取材。東日本大震災直後、被災地に入り、ひきこもる人たちがどう行動したのかを調査。新刊は『ルポ「8050問題」高齢親子「ひきこもり死、の現場から』(河出新書)他に『ルポ ひきこもり未満』(集英社新書)『ひきこもる女性たち』(ベスト新書)、『大人のひきこもり』(講談社現代新書)、『あのとき、大川小学校で何が起きたのか』(青志社)など多数。TVやラジオにも多数出演。KHJ全国ひきこもり家族会連合会本部広報担当理事。東京都町田市「ひきこもり」ネットワーク専門部会委員なども務める。

講演  
要旨

2016年と2019年に公表された内閣府の調査で、日本のひきこもり人口は100万人以上と推計され、若年層よりも40歳以上のシニア層が多いことがわかりました。それまで男性が圧倒的に多いとみなされていた状況にも異論が差し挟まれ、「ひきこもりUX会議」の林恭子さんが主催する「ひきこもり女子会」も活況を呈しています。また、ジャーナリストの池上正樹さんは「八〇五〇問題」をはじめとするひきこもりの高齢化問題に早くから警鐘を鳴らしてきました。活発に発信を続けるお二人を迎えて、多様なひきこもりの現状について語りあう機会としたいと思います。

日時

2021年7月20日 火  
18:00~20:00

オンラインセミナー  
:Zoomによる配信(100名まで)

申込

参加費は無料です。どなたでもご参加ください。7月17日15時までに参加希望を下記の研究室のメールまたはFAXに、氏名、ご所属・職種、e-mailアドレスを書いてお送りください。開催日前に記入いただいたe-mailアドレスまでZoomリンクをお知らせします。(定員を超えて多くの方にお申し込みいただいた場合、ご遠慮いただく可能性があります)